

明治安田 インフォメーション 2022 Vol.2

2022年度上半期業績のお知らせ

お客さま・地域社会とともに
つくりだす価値のご報告



MYリンクコーディネーター イメージキャラクター
環 亜希(たまき あき)

©スタジオ地図 ©J.LEAGUE

INDEX

社長メッセージ	P1
明治安田フィロソフィーについて	P2
2030年にめざす姿について	P3-4

2022年度上半期業績のお知らせ

■ 健全性について	P5
■ 「MYミューチュアル配当」について	P6
■ 収益性等について	P7-8
■ お役に立った保険金・給付金・年金等について	P9-10

お客さま・地域社会とともにつくりだす価値のご報告

■ アフターフォローについて	P11
■ 2「大」プロジェクトについて	P12-14
■ スポーツの力について	P15-16
■ 事業活動とSDGsについて	P17-18

「確かな安心を、 いつまでも」 お届けしてまいります

明治安田生命 取締役
代表執行役社長 グループCEO

永島 英器



当社は2020年4月に、10年後(2030年)にめざす姿を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定め、当社の「社会的価値」と「経済的価値」の双方の向上をめざす10年計画「MY Mutual※ Way 2030」をスタートしました。

10年後(2030年)にめざす姿の実現に向けた成長軌道の確保に取り組み

2021年度から開始した3カ年プログラム「MY Mutual Way I期」では、「営業・サービス」「基幹機能・事務」「資産運用」「相互会社運営」の各分野において制度・インフラ等の抜本的な見直しを行なう「4『大』改革」と、お客さまの健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」の「2『大』プロジェクト」に、「デジタルトランスフォーメーション(DX)戦略」を融合させ、「10年後(2030年)にめざす姿」の実現に向けた成長軌道の確保に取り組んでまいりました。

本プログラムの2年目にあたる2022年度の上半期は、予定していた取組みを確実に進め、金融環境が大きく変動するなかでも、引き続き高い収益性と健全性を確保することができました。

地域社会や地域のみなさまの発展、持続可能な社会の実現に貢献する取組みを推進

この上半期では、「みんなの健活プロジェクト」において、女性がん検診の受診費用をサポートし、早期発見から罹患した場合の再発予防にかかる治療費まで備える「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」を発売するとともに、がん検診受診の普及啓発を行なう等、お客さまの健康づくりを応援する取組みを進めました。

また、「地元の元気プロジェクト」において、道の駅・公民館・スポーツ団体等と協働した各地域でのイベント開催に加え、新たに日本赤十字社と健康・福祉等の領域で協働取組みを行なう包括パートナーシップ協定を締結する等、地域のみなさまの健康や暮らしの充実に貢献する取組みを行ないました。

これらの健康寿命の延伸、地方創生の推進に資する取組みに加え、持続可能な社会づくりへの貢献に向けた取組みとして、環境保全・気候変動への対応や、金融包摂(みんなにやさしい保険アクセス)、こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承等の取組みも推進するなど、当社は今後も、さらなる社会的価値・経済的価値の向上をめざしてまいります。

今後とも、末永くご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※Mutualは「相互の」という意味であり、保険会社のみにも認められている特別な会社形態「相互会社」も意味しています。相互会社は、ご契約者(社員)が会社の構成員であることから、ご契約者の利益を最優先とした長期安定的な経営が可能となると考えています

明治安田フィロソフィー

このページを
さらに詳しく



明治安田フィロソフィーは、当社の基本的な理念を示すものとして、
経営理念、企業ビジョン、明治安田バリューで構成しています。

経営理念

Mission

存在意義・使命

私たちは何者か

企業ビジョン

Vision

長期的にめざす姿

私たちは
何をめざすのか

明治安田バリュー

Value

大切にすべき価値観

私たちは何を
大切にしていくのか

確かな安心を、
いつまでも

信頼を得て選ばれ続ける、
人に一番やさしい生命保険会社

4つの絆を大切に企業ビジョンの実現をめざしています

お客さま
との絆

地域社会
との絆

未来世代
との絆*

働く仲間
との絆

お客さま志向・倫理観

一. 私たちは、お客さまを大切にし、高い倫理観のもと行動します。

挑戦・創造

一. 私たちは、果敢に挑戦し、新しい価値を創造します。

協働・成長

一. 私たちは、働く仲間と互いに助け合い、共に成長します。

*2022年度より「企業ビジョン」に定める3つの絆（「お客さまとの絆」「地域社会との絆」「働く仲間との絆」）に、「未来世代との絆」を追加

明治安田生命プロフィール（2022年9月末）

正式名称	明治安田生命保険相互会社	総資産	44兆9,907億円
創業	1881年（明治14年）7月9日	保有契約年換算保険料	2兆1,747億円（個人保険・個人年金保険）

2030年にめざす姿

「ひとに健康を、まちに元気を。」
最も身近なリーディング生保へ

2030年にめざす姿

「ひとに健康を、まちに元気を。」
最も身近なリーディング生保へ



時代を超え お客さま で進化する ま志向

(経営の 基本姿勢)

時代を超えて「確かな安心を、い
「新たなアフターフォロー」をお客
100年先も続く安定した経営をし

つまでも」お届けしていくために、
さまの生涯にわたって提供し、
ていきます

地域社会のお客さまに 最も支持される生命保険会社

(社会的価値の向上)

- お客さま一人ひとりに寄り添った究極のアフターフォローと、お客さまが暮らす地域に密着した活動で、地域に密着した最も身近な生命保険会社をめざします
- 地域のみなさまの暮らし・健康を豊かにするためのさまざまな取組みを全国各地で展開します

業界の リーディングカンパニー

(経済的価値の向上)

- 将来のいかなる環境変化のなかでも、100年先も続く安定した経営をベースに、つねに国内トップクラスと評価されるような生命保険会社をめざします
- 国内生保分野での各地域のシェア拡大とともに、資産運用や海外保険分野でもさらなる収益の向上、そしてトップクラスの健全性を堅持します



©スタジオ地図
©J.LEAGUE

MYリンクコーディネーター
イメージキャラクター

環 亜希 (たまき あき)



明治安田生命ビルと明治生命館
(東京都 千代田区)

このページを
さらに詳しく



強固な事業基盤と国内外に広がるネットワーク

1,200万人を
超えるお客さま



1,100を超える
全国規模の営業ネットワーク



47,000人を
超える従業員



海外ネットワーク
保険会社5カ国7社



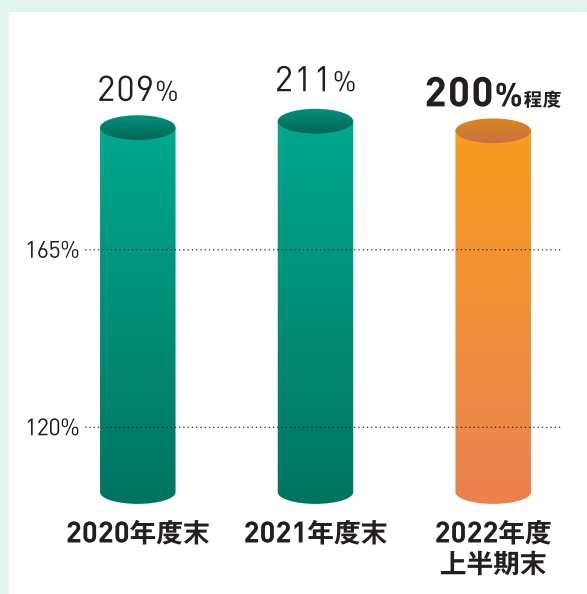
高い健全性を維持しています

安定的な配当還元等の前提となる
健全性(165%以上)を確保しています

グループESR

200%程度*

十分な自己資本が確保できているかを
示しています



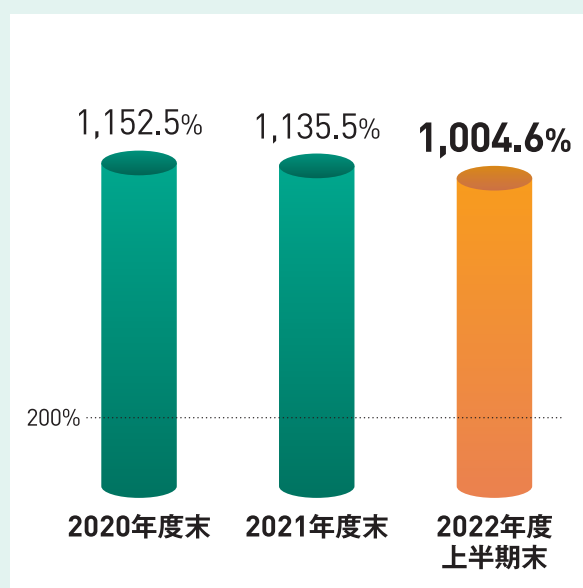
※2022年9月30日時点の概算値

予測を超えたリスクにも対応できる
支払余力を確保しています

連結ソルベンシー・マージン比率

1,004.6%

保険金などを確実に支払うための
「支払余力*」を示しています



※200%を下回った場合、監督当局による業務改善命令等の対象となります

グループ
ESRとは

- 当社のリスク量(信頼水準99.5%)に対して十分な自己資本が確保できているかを示す経済価値ベースの指標

明治安田生命
単体の決算業績
データはこちら

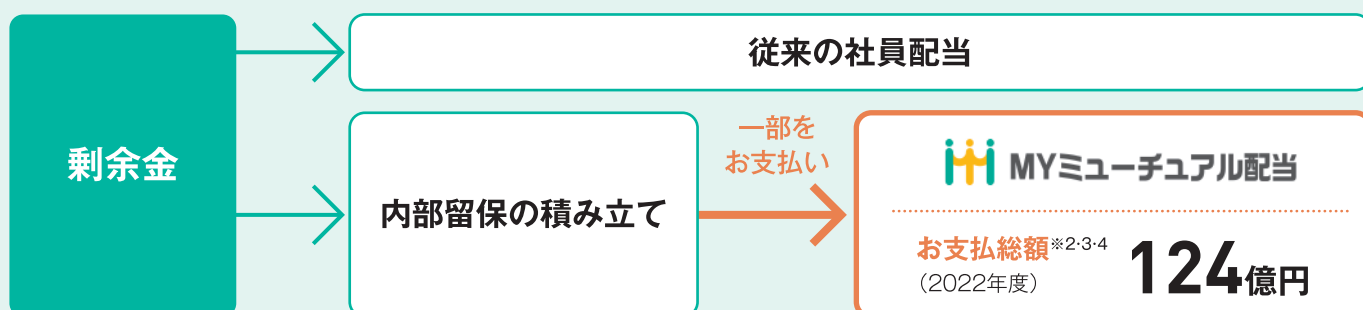


このページを
さらに詳しく



相互会社の強みを活かして 「MYミューチュアル配当」をお支払いしています

内部留保の積み立てに特に貢献いただいているご契約者に、その貢献度に応じて
配当金をお支払いする“業界初”^{※1}の仕組みです



※1 当社調べ

※2 2022年度のMYミューチュアル配当のお支払いに備え、2021年度決算において社員配当準備金に繰り入れた金額です

※3 ベストスタイル等の保障性商品が対象であり、経過20年と以後10年ごとにお支払いします。詳細はページ下の2次元コードからご確認ください

※4 会社の健全性の状況により、MYミューチュアル配当をお支払いできない場合があります

健全な財務内容で、格付会社から高い評価を得ています

(2022年11月1日現在)

格付投資情報センター
(R&I)

保険金支払能力

AA-

日本格付研究所
(JCR)

保険金支払能力格付

AA-

ムーディーズ
(Moody's)

保険財務格付

A1

S&P
保険財務力格付け

A+

*「保険金支払能力」「保険金支払能力格付」は、保険会社の保険債務が約定どおりに履行される確実性についての意見です。「保険財務格付」は、保険契約に基づく優先債務を遅滞なく履行する保険会社の能力に関する意見です。「保険財務力格付け」は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です*上記の格付は、当社が依頼して取得したものです*記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です*格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません*格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります

このページを
さらに詳しく



高い収益性を確保しています

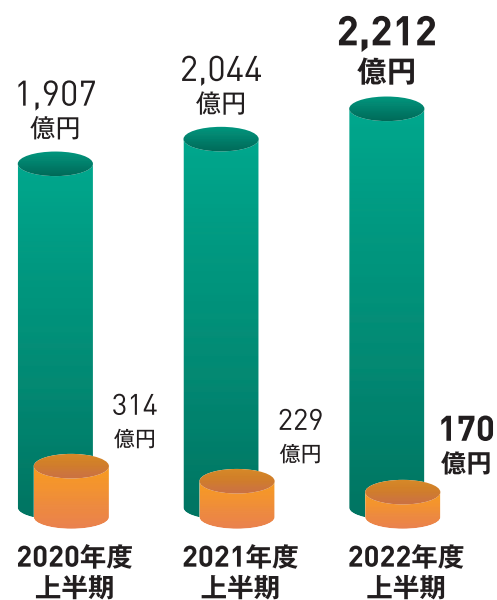
引き続き高い収益性を確保しています

グループ基礎利益^{※1}

2,212億円

生命保険会社の本業の利益を表しています

■うち海外保険事業等^{※2}



※1 2022年度より基礎利益の算定方法について改正。これをふまえ「2020年度上半期」「2021年度上半期」「2022年度上半期」は改正後の数値を表示

※2 国内生命保険事業以外の合算

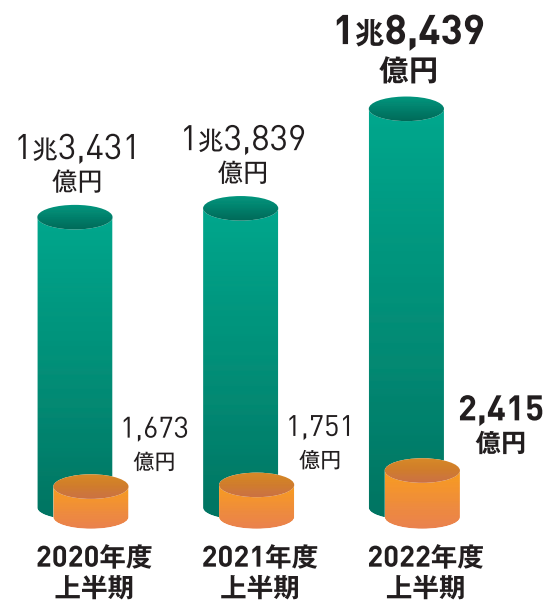
多くのお客さまにご愛顧いただいています

グループ保険料

1兆8,439億円

生命保険会社の売上にあたります

■うち海外保険事業等^{※2}



明治安田生命
単体の決算業績
データはこちら



おかげさまで「ベストスタイル 健康キャッシュバック」のご契約が100万件を突破しました

多くのお客さまにご好評いただいております

万を支える、健康を応援する^{※1}

ベストスタイル
健康キャッシュバック

[5年ごと配当付組立総合保障保険]

累計販売実績

111万件

健康サポート・キャッシュバックお支払実績

97億円

(2022年9月末時点)

お客さまのニーズにあわせた商品をご提供しています

女性特有のがんの早期発見から、罹患した場合の再発予防治療まで備えることができます



認知症を「いまから知る」、認知症に「いまから備える」ために、保障・サービスを一体的に提供しております



シニア世代のがんの3大治療(手術・放射線治療・薬物治療)から先進医療・自費診療まで幅広くカバーできます



※1 「ベストスタイル 健康キャッシュバック」は、「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」を付加した場合の販売名称です

※2 「ベストスタイル 健康キャッシュバック 女性がん・早期発見サポート」は「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」

「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」を付加した場合の販売名称です

※3 「いまから認知症保険 MCIプラス」は「軽度認知障害終身保障特約」を付加した場合の「いまから認知症保険」をいいます

このページをさらに詳しく

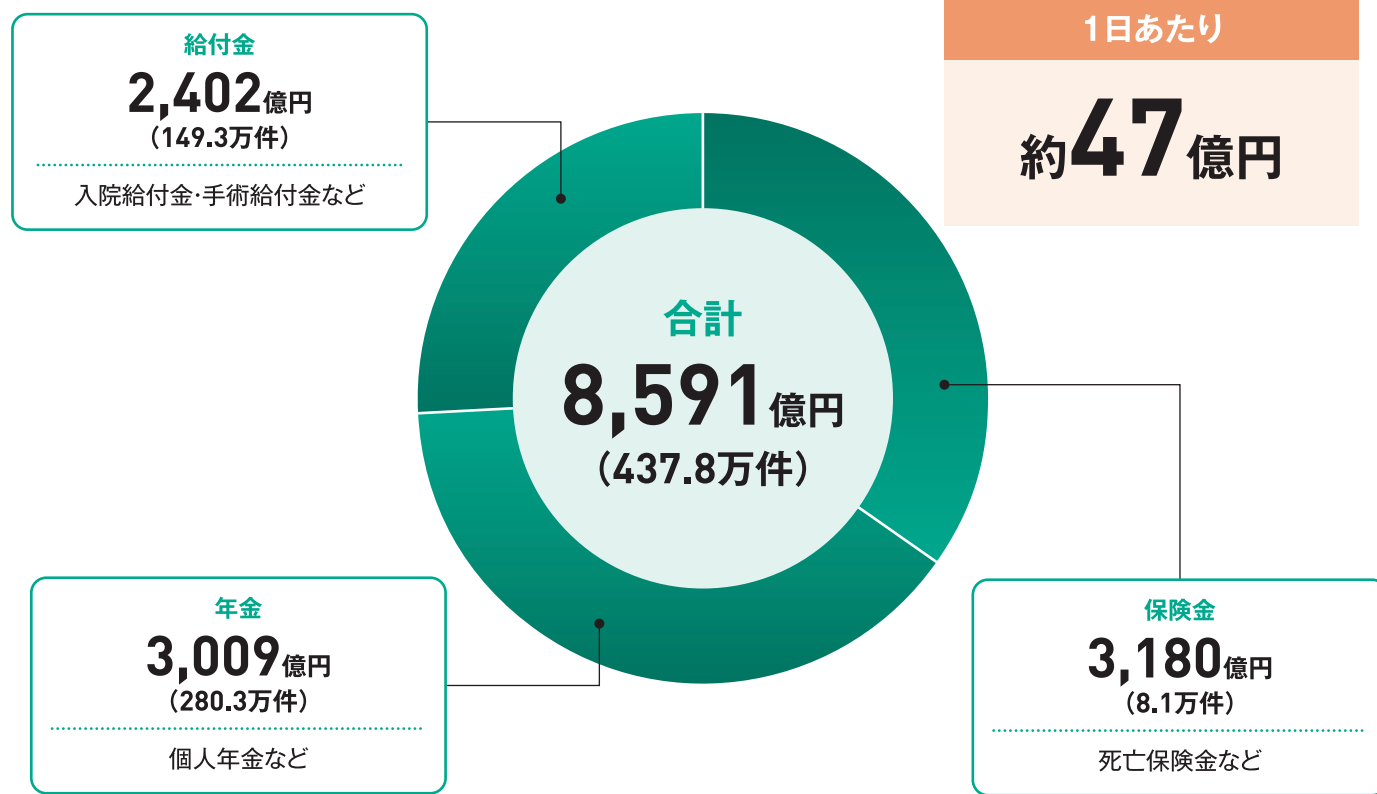


このページをさらに詳しく



「確かなお支払い」に努めます

2022年度上半期にお支払いした保険金・給付金・年金



2022年度上半期までに、新型コロナウイルス感染症でお支払いした保険金・給付金

死亡保険金	入院給付金	うち入院されたものとみなしたお支払い
【累計】 143.4億円 (2,182件)	【累計】 388.1億円 (439,442件)	【累計】 372.8億円 (430,562件)
【2022年度上半期】 28.8億円 (494件)	【2022年度上半期】 308.0億円 (361,688件)	【2022年度上半期】 306.0億円 (360,674件)

新型コロナウイルス感染症のみなし入院に関しまして

2022年9月26日以降に診断されたお客さまについては、「4類型」のいずれかに該当する方に限り、入院したものとみなして取り扱います

- 65歳以上の方
- 入院を要する方
- 妊婦の方
- 重症化リスクがあり、新型コロナウイルス治療薬の投与または、新たに酸素投与が必要と医師が判断する方

(2022年11月1日時点)

保険金・給付金のお支払事例

30代 男性 (ご加入から2年)

自宅で就寝中に頭痛を訴え搬送。
くも膜下出血にてご逝去

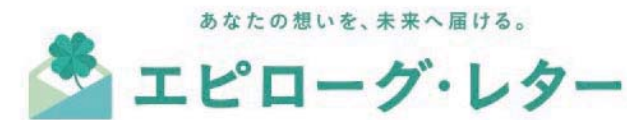
死亡保険金 3,240万円 ※1
をお支払い

20代 女性 (ご加入から5年8ヵ月)

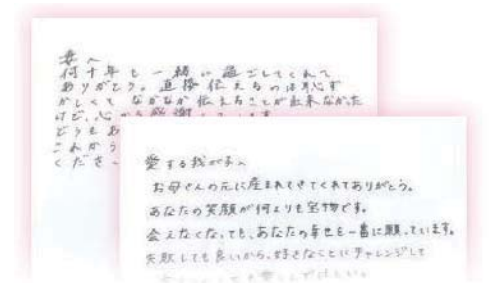
しこりを感じ病院を受診したところ、
乳がんと診断

がん保険金 300万円 ※2
をお支払い

お支払事例に記載のお支払金額は、以下特約例の場合の金額です。特約の組み合わせには、当社所定の制限があります
※1 【30代男性/ベストスタイルご加入】定期保険特約:3,000万円 生活サポート終身年金特約:240万円(生前に生活サポート終身年金のお支払いなし)
※2 【20代女性/メディカルスタイル Fご加入】がん保障特約:300万円



“伝えたい想い”を、死亡保険金受取人様へお届けします
(ご利用は無料です)



メッセージをご登録いただいた方からの声

愛知県 80代 男性

半世紀以上、妻と一緒にいて、たくさん迷惑をかけてきました。普段言えないことを書くいい機会になりました。どうもありがとう。

メッセージを受け取った方からの声

岡山県 70代 女性

夫がそばに帰ってきてくれたようで、嬉しさとせつなさが重なります。このメッセージは、心の支えとなる宝物です。大切にします。

このページを
さらに詳しく



このページを
さらに詳しく



充実したアフターフォローをお届けしています

©スタジオ地図
©J.LEAGUE



お客さまのご希望に沿ったアフターフォローをお届けします

ご面談



オンライン面談



お電話・LINE



お客さまへのアクセス数(対面・非対面)

(2022年4月~9月)

4,137万回

お客さまにあわせたサポートをいたします

「事務サービス・コンシェルジュ」が
お客さまのお手続きサポートや各種
サービスのご案内をいたします



お手続きサポート件数

(2022年9月末時点)

24万件

「みんなにやさしい保険アクセス」の取組み

ご高齢の方へ

- MY長寿ご契約点検制度
- MY安心ファミリー登録制度
- 「MYアシスト+(プラス)」制度

性的マイノリティ(LGBTQ)の方へ

- 同性パートナーの死亡保険金受取人等指定、
第二連絡先の登録

障がいをお持ちの方へ

- 専用窓口の設置
- 手話リレーサービス
- チャットボットサービス

外国人の方へ

- 外国語による通訳サービス
- 外国語によるお問い合わせ窓口
- 外国語のご説明資料の提供

お客さまご自身でお手続きいただけます

お客さま専用サイト
MYほけんページ

登録はこちら ▶▶



累計登録者数

(2022年9月末時点)

272万人

このページを
さらに詳しく



みなさまに「健康」と「元気」をお届けしています

ひとに健康を、まちに元気を。



健康を、
いっしょに育てよう。

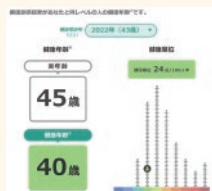


つながり、ふれあい、
ささえあう地域社会を。

商品 健康ステージに応じてサポートする
「健康増進型保険」をご提供します

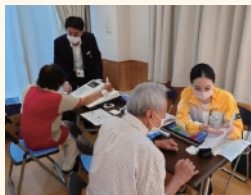


サービス 健康に関する情報・
アドバイスをご提供します



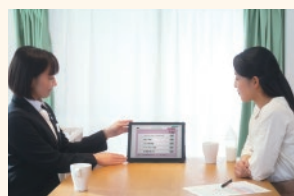
MY健活レポート画面のイメージ
(健康年齢®)※2

アクション 健康づくりをサポートする
イベント等をご案内します



「明治安田生命の健康チェック」イベント

つながり 地域の情報・サービス等を
みなさまにつなげます



情報のご案内イメージ

ふれあい 地域との協働により、
ふれあいの場をつくります



道の駅でのイベント

ささえあい 自治体等との協働支援により、
ささえあいに取り組みます



「私の地元応援募金」の贈呈式

※1 「ベストスタイル 健康キャッシュバック 女性がん・早期発見サポート」は「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約(2021)」「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」を付加した場合の販売名称です

※2 健康年齢®は株式会社JMDCの登録商標です

このページを
さらに詳しく



7つの取組みを通じて、豊かな地域づくりをサポートしています



「みんなの健活プロジェクト」の取組状況
 (2022年9月末時点)

商品
 健康サポート・キャッシュバック
 お支払実績 **97億円**

サービス **75.5%**
 直近1年間で健康意識が高まった人*2の割合*3 (健康増進型保険ご加入者における割合)

アクション **255万人**
 健康増進イベント累計参加者数

「地元の元気プロジェクト」の取組状況
 (2022年9月末時点)

つながり **4,149件**
 自治体と連携した取組数

ふれあい **458万人**
 プロジェクト累計参加者数

ささえあい **17.5億円**
 「私の地元応援募金」による寄付金総額

※2 従来から健康意識が高く、その状態を維持している人を含みます。コロナ禍による意識の向上を除きます
 ※3 当社実施の2022年健康に関するアンケート調査より

スポーツ支援を通じた、健康増進・地域貢献 に取り組んでいます

わたしたちは



©J.LEAGUE

のタイトルパートナーです



2022シーズンJ1優勝トロフィー贈呈式

2015年から続く「Jリーグタイトルパートナー」契約を更新し、さまざまな取組みを行なっています

スポンサー契約締結
全**58**クラブ等^{※1}



(松山支社)

スタジアム観戦者
169万人^{※2}



(浜松支社)

Jリーグウォーキングの開催
152回/**36,382**人参加^{※2}



(大阪本部)

※1 全58クラブと全国の支社等が個別にスポンサー契約を締結
(Jクラブがない都道府県においては、JFL・地域リーグ等に所属するクラブとスポンサー契約を締結)
※2 2022年9月末時点

わたしたちは

(日本女子プロゴルフ協会)



のオフィシャルパートナーです



当社所属選手：左から鶴岡果恋選手、勝みなみ選手、小倉彩愛選手

2021年から「JLPGAオフィシャルパートナー」としてさまざまな取組みを行なっています

JLPGAプロによる
ティーチング活動
73回/**3,294**人参加^{※2}



©JLPGA

勝みなみ選手等による
レッスン動画の提供
再生回数 約**200**万回^{※2}



「明治安田生命レディス
ヨコハマタイヤ
ゴルフトーナメント」
への特別協賛



2022年3月
高知県 土佐カントリークラブ

小学生向けサッカー教室 × スナッグゴルフ教室

Jクラブコーチ・Jリーグ選手OBによる
サッカー教室の開催

1,134回/
82,693人参加

(2015シーズンから2022年9月末までの累計)

JLPGA所属ティーチングプロによる
スナッグゴルフ教室の開催

全国**10**カ所で実施予定
(2022年度)



©J.LEAGUE (川崎支社)

JLPGAとともに、「女性の健活」に向けて取り組んでいます

当社所属選手が登場する動画コンテンツの提供

女性の健康で豊かな未来に向けて、当社HPや
YouTubeにて健康診断受診を呼びかけるメッ
セージを今後提供します

JLPGA主催の研修会での健康診断受診勧奨

プロテスト合格者やティーチングプロ
資格取得者への研修会を通じた健康
診断の受診勧奨に取り組めます

研修会
対象者
約**130**名



事業活動を通じて、持続可能な社会づくりに貢献しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特に注力する優先課題

2「大」プロジェクトを通じて、お客さまの健康増進や地域社会の活性化に取り組んでいます（詳しくはP12-14参照）



健康寿命の延伸



地方創生の推進



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを

さらなる取組みが必要な優先課題

事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化します

環境保全・気候変動への対応



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう

その他の優先課題

- 金融包摂（金融アクセスの確保等）
- こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承
- 健康・金融リテラシーの向上
- 多様な保険商品・サービスの提供
- イノベーション、調査・研究・開発の推進
- 雇用機会の創出
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 人権の尊重・推進
- ガバナンス強化と経営の透明性確保
- コンプライアンスの推進
- 防犯・防災対策の整備

このページをさらに詳しく



環境保全・気候変動への対応

脱炭素社会の実現に貢献するため2050年度にCO₂排出量ネットゼロに取り組みます



事業者としてのCO₂排出量削減への取組み

削減目標（いずれも2013年度比）

	2020年度実績	2030年度目標	2050年度目標
Scope 1・2 ^{*1}	△30%	△50%	△100% （排出量ネットゼロを実現）
Scope 3 ^{*2}	△14%	△40%	△100% （排出量ネットゼロを実現）

再生可能エネルギーの導入等

策定した排出量ネットゼロへのロードマップに基づき、再生可能エネルギーの導入や営業拠点を対象としたZEB Ready水準^{*3}を満たす建築物への切り替え等を推進。2030年度の間目標（Scope 1・2）の達成は見込んでいます



（本社ビル等への再生可能エネルギーの導入）

機関投資家としてのCO₂排出量削減への取組み

削減目標（いずれも2013年度比）

	2020年度実績	2030年度目標	2050年度目標
Scope 1・2 ^{*4}	△32%	△50%	△100% （排出量ネットゼロを実現）

ESG投融資の推進^{*5}

2021年度からの3年間で5,000億円の投融資を実行する計画に対し、2022年9月末までに累計約5,700億円実行。1年以上前倒しで計画を達成しました



©IDB Invest
（脱炭素社会の実現に資する「トランジション・ボンド」への投資）

※1 Scope1は、当社での燃料の使用等による直接排出。Scope2は、当社で購入した電気の使用等による間接排出
 ※2 Scope3は、サプライチェーンにおける当社以外の間接排出。重要性等に鑑み、7つのカテゴリー（1、3、4、5、6、7、8）に限定して算出しており、カテゴリー15（投資）は機関投資家としての排出量として管理
 ※3 省エネに努めて建物内消費エネルギーを50%以上削減した建物
 ※4 国内上場企業の株式・社債・融資が対象
 ※5 「環境（E）」「社会（S）」「ガバナンス（G）」の課題を考慮

このページをさらに詳しく



未来世代を思い、環境保全やこどもの健全育成などに取り組めます



● 金融・保険教育

小学校高学年から高校生を対象に出張授業を全国各地で開催しています。金融リテラシーの向上を目的に「自助の備え」について学ぶ機会を提供しています。



（埼玉本部主催の授業風景）

このページを
さらに詳しく



お客さま懇談会

当社では、ご契約者のみなさまからご意見・ご要望等をいただく機会として2023年1～2月にかけて「お客さま懇談会」を全国で開催します。ご出席を希望される方は、担当者までお知らせください。また、当社HPからご意見等をお寄せいただけます

アクセスはこちら

【HPからのご意見受付期間】

2022年12月26日(月)～2023年3月3日(金)

*上記受付期間終了後は、お客さま専用サイト「MYほけんページ」から経営に関するご意見等をお寄せいただけます



明治安田生命 2022 マイハピネスフォトコンテスト

テーマ「あなたがいるしあわせ。」

家族のふれあい、夫婦やカップルの愛情などの“しあわせな瞬間(とき)”を写してください。

2人以上、もしくは動物と一緒に撮影した写真をご応募ください



2021年 グランプリ作品

【応募締切】

2023年1月31日(火)

マイハピネスフォトコンテスト

検索

アクセスは
こちら



明治安田生命大人の塗り絵コンクール

脳の活性化やリラックス効果が期待される塗り絵コンクールを40歳以上の方を対象に開催しています

【第1回応募者数】

60,722人

【第2回応募締切】

2023年1月31日(火)



第1回 金賞作品

生命保険契約のお手続きに関するご照会

チャットサービスによるお問い合わせ

ホームページから「チャットボット」や、専門オペレーターの「チャット」、フォーム入力の「かんたんお手続きフォーム」をご利用いただけます

ご利用は
こちら



お電話によるご相談窓口

月曜～金曜 9:00～18:00 / 土曜 9:00～17:00 (いずれも祝日・年末年始を除く)

コミュニケーションセンター



0120-662-332

ご高齢のお客さま専用のお問い合わせ窓口



0120-809-127

外貨建保険・金融機関窓口 販売商品のお問い合わせ窓口



0120-453-860

*受付時間については変更の可能性があります。詳細は当社公式ホームページでご確認ください

- 生命保険募集人は、お客さまと明治安田生命の保険契約締結の媒介を行なう者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約は、お客さまからの保険契約のお申し込みに対して明治安田生命が承諾したときに有効に成立します
- 掲載のサービス・イベント等は一例です。サービスは、明治安田生命にご契約のお客さまのみご利用いただけます(一部例外や条件があります)。また、各サービス・イベントの画像の一部はイメージです

明治安田生命保険相互会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-1-1
TEL 03-3283-8111(代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

